

【仮題】 中世パリの装飾写本

→ 書物と読者 ←

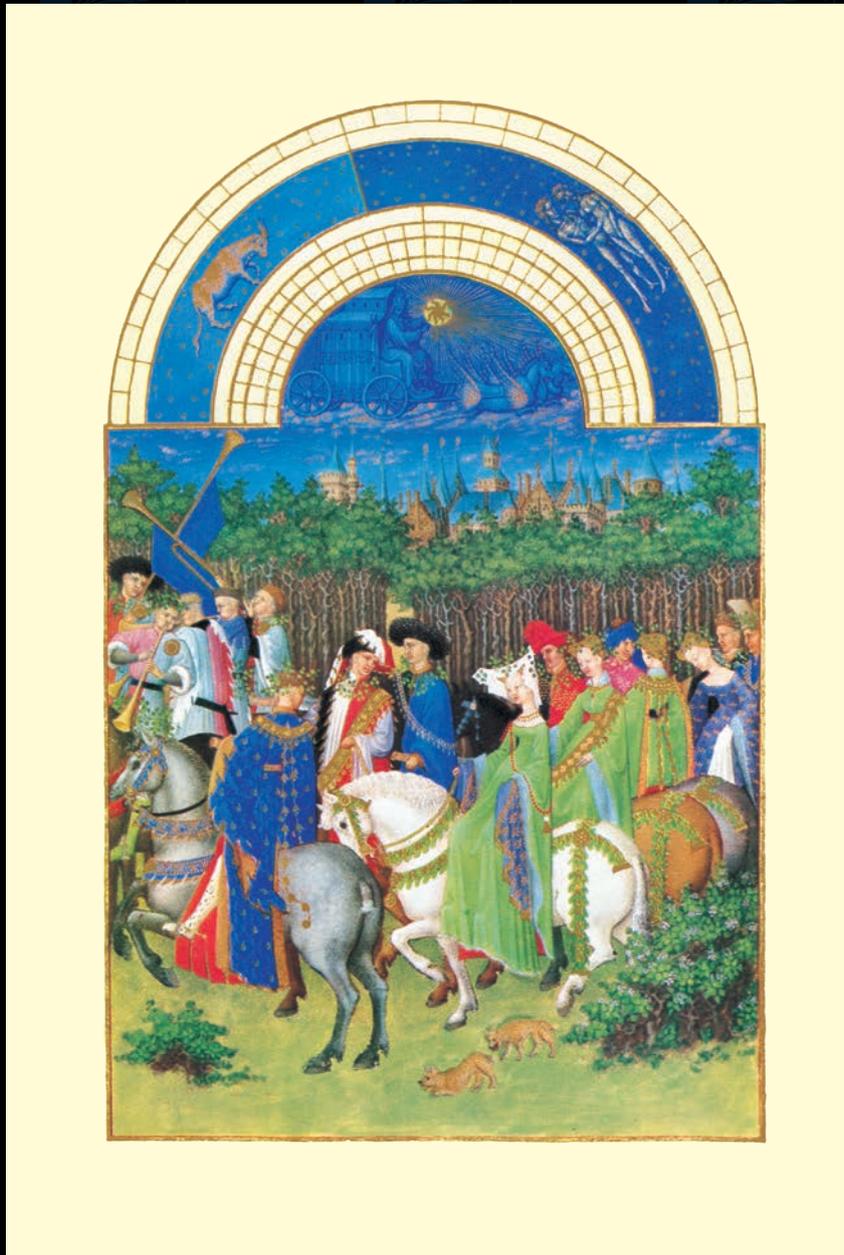
前川久美子

予価＝本体3,800円＋税 A5判/上製 約250頁[カラー46頁]

2015年春刊行予定

書物について考えをめぐらすとき、コテックス冊子形態の
起源「写本」を欠かすことはできない。

中世写本の花形、13～15世紀パリの装飾写本の盛衰をたどりながら、美術的意味、社会的背景、読書法の変遷を記す。
中世写本美術の入門書であり、読書の歴史を語る書物論でもある。



工作舎

前川久美子 ◆ 専門は西洋美術史、とくに中世の装飾写本とルネサンス絵画。東京大学教養学部卒業、パリ第IV大学第三(博士)課程修了。英文著書『語りと経験 13世紀の絵本における革新』(Narrative and Experience: Innovations in Thirteenth-Century Picture Books, Frankfurt a.M., 2000.)では、『聖ルイの詩編』など、13世紀の写本の中で成立している絵画の〈語り〉について考察。その他の著書として、『巡礼としての絵画』(工作舎, 2009)、『世界美術大全集X ゴシック2』(小学館, 1994 共著)、翻訳に、エバーハルト・ケーニヒ『ペリー公のいとちも美しき聖母時禱書』(日本語版監修: 辻佐保子, 岩波書店, 1994)、ペーター・シュプリンガー『右手と頭脳』(三元社, 2010)などがある。

【第一部】図版編

【第二部】テキスト編

- 第1章 ◆ パリの写本装飾の始まり——「教訓聖書」
- 第2章 ◆ ものがたる写本絵画——「聖ルイの詩編」
- 第3章 ◆ 声から文字へ——「梨物語」
- 第4章 ◆ 聖書絵本の流行——「マダムマリーの祈禱書」
- 第5章 ◆ 中世パリの日常生活——イブ作聖上の生涯と殉教

第6章 ◆ 写本装飾の革新(シンビラセル)——「ジャンヌ・テプルーの時禱書」

- 第7章 ◆ 個人全集の成立——「キヨムトマシー作品集」
- 第8章 ◆ 政治思想を反映する写本絵画——「フランソワ全年代記」
- 第9章 ◆ 教奇な運命をたどった装飾写本——ペリー公の『聖母のいとちも美しき時禱書』
- 第10章 ◆ 中世末のヨーロッパ——「フシコ時禱書」
- 第11章 ◆ 写本装飾のピーク(フレイブル兄弟)——「ペリー公のいとちも豪華なる時禱書」
- 第12章 ◆ 最後の大傑作——「ロアン時禱書」

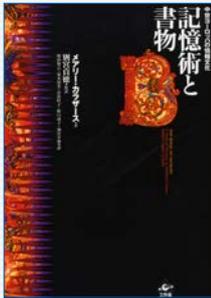


工作舎 ヨーロッパの歴史と美術

◆価格は税別

記憶術と書物

中世ヨーロッパの情報文化



- メアリー・カラザース
- 別宮貞徳＝監訳

記憶力がもつとも重視された中世ヨーロッパでは、数々の記憶術が生み出され、書物は記憶のための道具にすぎなかった！ F・エイツの『記憶術』を超え、書物の意味を問う名著。

ISBN978-4-87502-288-6
定価 本体8000円＋税
A5判/上製 540頁 1997.10

本の美術史

聖書からマルチメディアまで



- 中川素子

中世キリスト教絵画から現代美術、マルチメディアまで、美術の視点から「本とは何か？」をたどる書物論。古今東西の美術家の本にまつわる30作品余を収録。朝日「天声人語」でも紹介。

ISBN978-4-87502-247-3
定価 本体2500円＋税
四六判/上製 220頁 1995.1

巡礼としての絵画

メディチ宮のマギ礼拝堂とゴッソリの語りの技法



- 前川久美子

フィレンツェ、メディチ宮礼拝堂の三壁面を飾る「マギの旅行」から、注文主ゴッモが意図した「代替巡礼」を読み解き、絵画における語りの技法を解き明かす。カラー24頁、図版100点以上。

ISBN978-4-87502-421-7
定価 本体4800円＋税
A5判/上製 344頁 2009.9

綺想の帝国

ルドルフ2世をめぐる美術と科学



- トマス・D・カウフマン
- 斉藤栄一＝訳

諸学のパトロンかつ稀代の収集家ルドルフ2世が君臨した16世紀ブラハ。ヴァールブルグ派気鋭の美術史家が、当時の芸術家たちの作品から豊かな魔術的想像力を読み解く画期的論考。

ISBN978-4-87502-248-0
定価 本体3800円＋税
A5判/上製 384頁 1995.3

キルヒャーの世界図鑑

よみがえる普遍の夢



- ジョスリン・ゴドウィン
- 川島昭夫＝訳
- 澁澤龍彦＋中野美代子＋荒俣 宏＝付録

中国文明エジプト起源説、地下世界論、暗号論、作曲コンピュータや幻燈器の発明など、17世紀の遅れてきたルネサンス万能学者の膨大な業績を、140点余のオリジナル図版で紹介。

ISBN978-4-87502-115-5
定価 本体2900円＋税
A5判変型/上製 318頁 1986.4

普遍音楽

調和と不調和のたいなる術



- アタナシウス・キルヒャー
- 菊池 賞＝訳

綺想科学者、キルヒャーの伝説的代表作。初邦訳。バッハやヘンデルら後代の作曲家たちに多大な影響を与える一方、ナマケモノの歌、歌う魚、猫オルガン、会話する彫像などの不可思議な事柄が登場。

ISBN978-4-87502-450-7
定価 本体 4800円＋税
A5変型/上製 448頁 2013.7

ゾルダナーノ・ブルーとヘルメス教の伝統



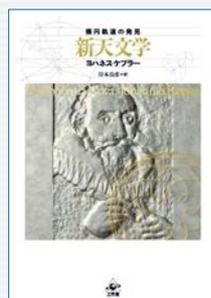
- フランセス・エイツ
- 前野佳彦＝訳

コペルニクス説を擁護して火刑に処せられたゾルダナーノ・ブルー。その放浪の足跡を辿りながら、ルネサンスに隠されたヘルメス教と魔術的世界観を解き明かす。F・エイツ幻の代表作、待望の邦訳。

ISBN978-4-87502-429-3
定価 本体10,000円＋税
A5判/上製 880頁 2010.5

新天文学

楕円軌道の発見



- ヨハネス・ケプラー
- 岸本良彦＝訳

近代天文学への扉を開いたケプラーの第1・2法則発見プロセスの全容。ラテン語原典より本邦初完訳したケプラー天文3部作、ついに完結。日本翻訳文化賞受賞。

ISBN978-4-87502-453-8
定価 本体 10,000円＋税
A5判/上製 688頁 2013.11



〒169-0072 東京都新宿区大久保2-4-12 新宿ラムタックスビル12F

tel ▶ 03-5155-8940
fax ▶ 03-5155-8941

www.kousakusha.co.jp/
saturn@kousakusha.co.jp